

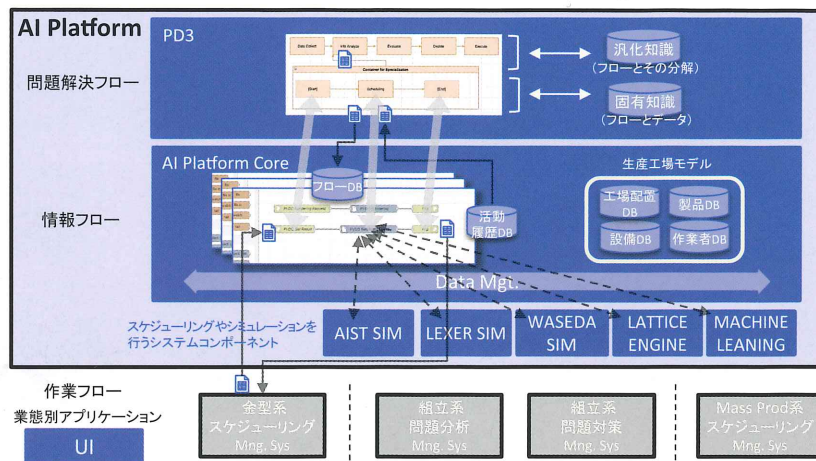
# AI 技術をプラットフォームとする競争力ある次世代生産システムの設計・運用基盤の構築

## 背景と狙い

日本の生産システムにおける、自動車・自動車部品等の少品種大量生産システムの強みは、研ぎ澄まされた現場力によるリーンな生産により成り立ってきた。一方、金型などの領域では、多品種少量の生産システム技術、設備や人のリソースマネジメント技術で競争力を維持してきた。我々は、これらの組立・金型生産システムを対象として、日本が有する熟練技術を強化する、人の意思決定をより高度化する「良質な仮説導出を支援するAI」の開発を目指す。

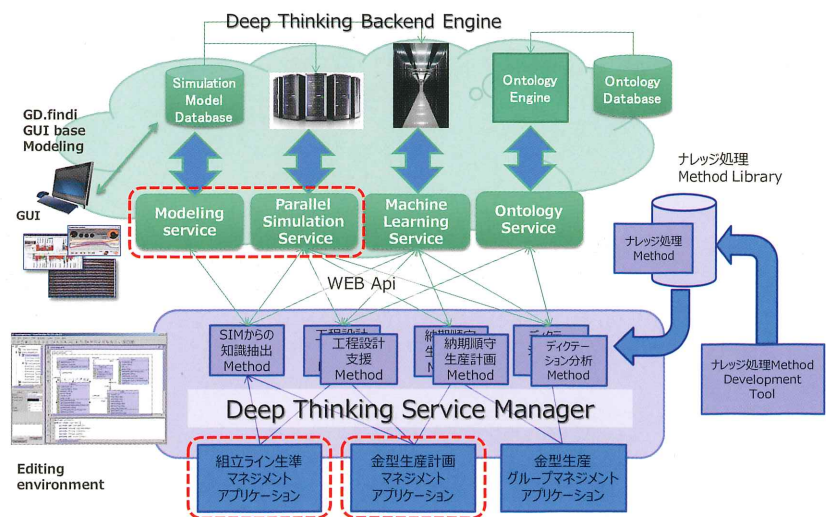
**キーワード** 組立・金型生産システム、リーン生産、リソースマネジメント

## 取組み内容



## アウトプット・効果

- 生産ライン設計、スケジューリングに関して非熟練者であっても熟練者並み、熟練者以上の品質を提供できる商用AIサービスを展開
- 熟練者の知識構造記述方式、知識構造獲得プロセスの一般化
- 実際の生産システムにおいて生産能力30%向上を目指し、様々な製造業領域で競争力を強化



委託先：国立大学法人東京大学、株式会社レクサー・リサーチ、株式会社デンソー、株式会社岐阜多田精機、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、学校法人早稲田大学  
 再委託先：株式会社名古屋多田精機、株式会社福岡多田精機、株式会社田中製作所、株式会社加藤製作所  
 担当者または主要研究者：太田 順(東大)、中村 昌弘(レクサー・リサーチ)、安井 俊徳(デンソー)、多田 憲生(岐阜多田精機)、武田 英明(国立情報学研究所)、高本 仁志(産総研)、谷水 義隆(早大)

研究開発項目②-3 人工知能技術の適用領域を広げる研究開発 / 作業判断支援を行う人工知能技術 2019年4月～